

平成二十八年度 福岡市立福岡西陵高等学校 第三十九期生卒業証書授与式 式 辞

穏やかな陽射しに、西陵青春坂の桜の蕾も膨らみ、春の訪れを感じる今日の佳き日に、本校第三十九期生卒業証書授与式を挙げるに当たり、多くのご来賓の方々並びに保護者・地域の皆様のご臨席を賜りましたことを教職員一同、心から感謝申し上げます。

ただ今、三百十一名の卒業生の皆さんに卒業証書を授与しました。第三十九期生の皆さん卒業おめでとう！

平成二十六年四月八日に入学した皆さんは、「誠実・協力・創造」の校訓のもと「特進クラス」を設置した二年目の学年として大きな成果を上げ、福岡西陵高等学校の三年間の学業を修了し今日巣立っていきます。

皆さんとは、二年間ではありましたが、この福岡西陵高校で、日々の挨拶やシンガポール研修旅行や体育祭等で一緒に学校生活を送り、卒業の日を迎えられたことを大変うれしく思います。創立四十一周年のキャッチフレーズを「G l o b a l ～世界にはばたけ西陵生PARTⅡ～」とし、「NEW福岡西陵高校の創造」をめざし、三年生が中心となって学校行事等を成功裏に終えることができたことに感謝しています。

今年度より毎年開催となった六月の西陵祭、二十六年にわたる韓国姉妹校への訪問、そして九月の体育祭は、「輝翔」（きしょう）をテーマにスタンドでのパネル全校応援など、生徒会やブロック長を中心に全力で取り組み、四十一年目の新しい福岡西陵高校を創っていこうと思いで、全校一丸となり一生懸命に取り組む姿に大変感動しました。

また、部活動では、管弦楽部・ダンス部の全国大会出場、書道部の九州大会出場、ラグビー部のNZ訪問をはじめ、多くの部が県大会に出場するなど「勇気と感動」を与えてくれました。これまで応援してくれた方々に感謝するとともに、積み重ねてきた努力と経験は一生の財産にしてほしいと思います。

一方、我が国においては、昨年四月に熊本県を中心に発生した地震や自然災害がいろんな地域で起こり、大きな被害が出ました。

一日も早い復興を祈念するとともに、自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識し、今自分にできることは何かを考え、お互いが心をつなぎあい、ともに一日一日を一生懸命に生きていくことが大切です。

このような中、我々が日々生活している福岡市は、人口が百五十万人を超えるとともに、市政調査によれば「福岡市は住みやすい」と答えた人が九十五．八％となるなど過去最高値となりました。活力ある安全な日本を維持し発展していくためにも、福岡市から「元気と勇気」を発信していきたいものです。皆さんは、その若きリーダーとして成長し、グローバルな視点で社会に貢献できる人材となることを期待しています。

本校での三年間を修了する門出に当たり三つの話をし、はなむけの言葉とします。

一つ目は「出会いを大切にしてほしい」ということです。

皆さんは、新しい環境の中で第一步を踏み出し、そこには新しい出会いが待っています。人は、出会うべき時に出会うべき人やものごとに出会うと言われていています。自分には向かないと思っていたことが、やってみるとおもしろかったり、自分の新しい適性を発見することもあります。出会った人やものごとと、ともに過ごすうちに、いろいろな気づきや刺激が得られ、生き方や考え方が変わり、自分の可能性を広げ成長するチャンスが生まれてきます。貴重なチャンスを活かすためにも、新しい環境に積極的に飛び込んでいくことで、また新しい出会いが生まれ、人の輪もさらに広がっていきますので、出会いを大切にしてください。

二つ目は、「ありがとう」を素直に言える人であってほしいということ。四月からは大学生や社会人としての生活に期待がふくらんでいると思います。社会に出ればつきあう人を選べなくなり、気の合う人だけでなく、さまざまな人と一緒に仕事をしなければなりません。そうであるならば、これを受け入れ、お互いの関係を良好に保つ心がけが求められてきます。親切にされれば素直に「ありがとう」を言う。忙しそうな人には「手伝いましょうか」とひと声かける。すると相手も嬉しいし、その人にさらに好感が持てます。言葉にしなくても感謝している、力になりたいと

思っている，というかもしれませんが，ちょっとした行き違いがシコリとなり，大きな溝になってしまうこともあります。「ありがとう」「お疲れさま」「大変ですね」など感謝やねぎらいの言葉が互いに素直に言える社会にできるよう，今日から実践してほしいと思います。

三つ目は，「何かを学ぶためには，自分で体験する以上にいい方法はない」これは相対性理論の研究でノーベル物理学賞を受賞したアルベルト・アインシュタインの言葉です。勉強や部活動での経験でわかるように，理屈ではわかっていても実際にやってみると，こんなはずではなかったということがあります。四月からの新しい環境は，わからないことが多いと思いますが，その環境の中で自分自身と真正面から向き合い，最善を尽くすために自分で考え体験し主体的に行動することが大切です。何事にも前向きに勇気を持って，より高いチャレンジマインドで邁進してください。

結びになりますが，本日ご臨席いただきました保護者の皆様，お子様のご卒業，誠におめでとうございませう。この三年間のご支援・ご協力に感謝をいたしますとともに，心からお祝い申しあげます。

本日，立派に成長されたお子様を，今後とも，人生の良き先輩として，地域の皆様とともに温かく見守り，ご支援・ご指導いただきますことを祈念いたしまして，式辞といたします。

平成二十九年三月一日
福岡市立福岡西陵高等学校
校長 中村 明人